

平成29年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

法文学部 人間科学科

地理歴史人類学専攻

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の図は、北イタリアで見つかった岩に描かれた絵図の写しです（部分）。紀元前 1500 年頃の作とされ、当時の人々が自分たちの集落の様子を描いたものとみなされています。この図から、これを描いた人々がどのような生活をし、どのような社会を築いていたと考えられますか。あなたの見解を、そう考える理由とともに、1000 字以上、1200 字以内で論じなさい。

非公開

(村井俊治・織田武雄・中野尊正・篠 邦彦編、『地図への冒険』、リプロポート、1980 年、42 ページ、抜粋)

平成29年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

法文学部 人間科学科

地理歴史人類学専攻

出題の意図

人間科学科地理歴史人類学専攻では、地域や歴史、文化に高い関心を持ち、解決すべき課題を自ら発見するとともに、実証的アプローチに基づいた論理的思考によって課題を解決することのできる人物を求めている。本専攻課程が「求める人材像（アドミッションポリシー）」で明らかにしている諸能力のうち、特に、理解力、考察力、論理的思考力、記述力等を小論文によって総合的に判断する。

この資料は、北イタリアで見つかった岩に描かれた絵図の写しである。紀元前1500年頃の作とされ、当時の人々が自分たちの集落の様子を描いたものと考えられている。解答者には、この資料の読解力に加えて、独創的・論理的に論じる能力が求められる。